

「新・今日の作家展」は横浜市民ギャラリーが開館した1964年から開催してきた年次の現代美術展「今日の作家展」(~2006年)の名を冠し、昨年より再始動した現代美術の動向を紹介する展覧会です。

本年は「キオクのかたち／キロクのかたち」をテーマに、土地や歴史の調査、人々へのインタビューなど、自己の外部にあるもの・過去の事物との接触を制作過程に取り入れて作品を発表する作家を紹介します。失われてしまったものや時を経て変化したものの記録、人々の中に息づく記憶が、作家というフィルターを通して作品へとかたちを結びます。また、その作品が新たな記録の役割をも担っていきます。

自身のルーツや常識外の現象などへの関心を掘り下げ、多

角的に調査しインスタレーションをおこなう久保ガエタン(1988年生まれ)。2012年より陸前高田、2015年から仙台を拠点とし、現地を中心に人々にインタビューを行い制作する映像作家の小森はるか(1989年生まれ)と画家の瀬尾夏美(1988年生まれ)。各地の捕鯨文化や狩猟・漁労文化についてオーラルヒストリーを収集し手芸やリトルプレスのかたちで発表する是恒さくら(1986年生まれ)。出身地の広島について考察した写真の発表、東日本大震災の被災地を含む日本各地での撮影を通じ、災害から復興を遂げる場所に向き合ってきた写真家の笹岡啓子(1978年生まれ)。記憶・記録へのまなざしは様々です。彼らの作品に触れることは、“いま”や“わたしたち”を見つめ直す契機となることでしょう。



1 | 久保ガエタン「僕の体が僕の実験室です。あるいはそれを地球偶然管理局と呼ぶ。」
展覧会風景/2017年/Courtesy of the artist and Kodama Gallery



2 | 小森はるか＋瀬尾夏美 巡回展「波のした、土のうえ」in 盛岡展覧会風景/2015年/Cyg art gallery



3 | 小森はるか＋瀬尾夏美《波のした、土のうえ》置き忘れた声を聞きに行く》2014年/映像 24分



4 | 是恒さくら 原西刺繍『ありふれたくじら』Vol.1(部分)/2016年/布、糸/撮影=根岸功

表面 | 笹岡啓子《PARK CITY》2016年/顔料インクジェットプリント © Keiko Sasaoka

【関連イベント】

是恒さくらパフォーマンス「『ありふれたくじら』を読む」
9月23日[土・祝]、24日[日] 13:00-13:30 会場 | 展示室B1

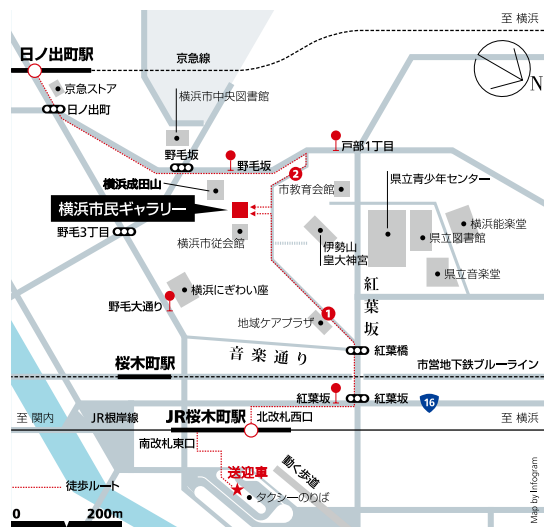
クロストーク「継承のかたち」
小森はるか＋瀬尾夏美×山本唯人(青山学院女子短期大学助教、社会学・空襲研究)
9月23日[土・祝] 14:30-16:00 会場 | 4階アトリエ
※大人のためのアトリエ講座 ヨコハマトリエナーレ2017応援プログラム

対談「1,2,3,太陽!」
久保ガエタン×山川冬樹(現代美術家、ホームイ歌手)
9月24日[日] 14:30-16:00 会場 | 4階アトリエ

クロストーク「爆心地の写真」
笹岡啓子×倉石信乃(明治大学教授、写真史)×小原真史(映像作家、キュレーター)
10月1日[日] 14:30-16:00 会場 | 4階アトリエ

学芸員によるギャラリートーク
9月30日[土] 14:00-14:30 会場 | 展示室1,B1

•いずれも参加無料、申込不要です



横浜市市民ギャラリー YOKOHAMA CIVIC ART GALLERY
〒220-0031 横浜市西区宮崎町26-1
TEL:045-315-2828 FAX:045-315-3033 <http://ycag.yafjp.org/>

電車でのアクセス

JR・横浜市営地下鉄「桜木町駅」から徒歩10分
●紅葉坂交差点を過ぎて左斜め①の道を進みます。
京急「日ノ出町駅」から徒歩8分
●野毛坂交差点を戸部方面に右側歩道を進み②の坂道を上がります。

バスでのアクセス

市営バス103系統「戸部1丁目」「野毛坂」から徒歩2分
市営バス89・156・292系統「野毛大通り」から徒歩7分
市営バス8・26・58・101・105・106系統「紅葉坂」から徒歩7分

駐車場 | 有料・予約制 [予約専用TEL 045-315-4440 (1週間前から受付)]

送迎車サービス

おからだの不自由な方、高齢者に配慮した無料送迎サービスです。桜木町駅東口タクシーのりばのタクシーを背にした付近★に送迎車が停車します。発車時刻等は横浜市市民ギャラリーのホームページをご覧ください。